

## 研究計画書

### 【題名】

ICU 入室患者でリハビリテーション介入をした患者の ADL 改善とリハビリテーション内容の関係性について

### 【研究目的】

近年、集中治療領域での早期リハビリテーション介入の重要性が言われており、当院でも発症後もしくは術後早期より介入をしています。早期リハビリテーションにおいて重要な位置づけとなっている内容として早期離床が挙げられていますが、その具体的な内容もしくは推奨されるリハビリテーションの項目ははっきりと示されてはいません。

そこで、今回 ICU 入室時よりリハビリテーション介入を実施した場合のリハビリテーション内容と ADL 改善との関係性について評価・検討することとしました。

### 【対象】

平成 30 年度に ICU 入室患者でリハビリテーション介入を行った患者

### 【方法】

対象患者に対する、年齢、性別、疾患、手術の有無、リハビリテーション開始までの期間、西病棟入院期間、1 日平均リハビリテーション実施単位数、リハビリテーション内容、ADL の改善度（BI 点数）をカルテより抽出し、ADL の改善度との関係性を検討します。

### 【研究期間】

平成 30 年 4 月～12 月

### 【個人情報について】

症例を特定されないよう、名前は公表せず、日付に関しても表記せず評価日は入院からの経過日数とする。

本研究は、日常の一般診療として行われたものの観察研究であり、新たに直接的侵襲を負荷するものではない。さらに、新たに費用が発生することもない。

本研究にしてご質問および対象となる方で研究への利用を拒否される場合は、お手数ですが平日の 9 時から 17 時の間に下記の研究代表者まで、ご連絡頂きますようお願い申し上げます。

### 【研究代表者】

リハビリテーション部 理学療法士 森下誠也

### 【発表方法】

日本理学療法学会、もしくは日本呼吸ケアリハビリテーション学会に投稿予定